

# 戸田市薬剤師会 臨時理事会議事録

記録日	R4.10.25
記録者	芹澤

日時	令和4年10月25日 日 13:00~15:30	出席者	染川、野口、武長、小澤、鯨井、 芹澤
場所	多世代交流館 A 会議室		

## 議 題

### 1. 報告事項

- 薬学生実務実習委員会
  - ✓ 今期はイオン薬局北戸田店様が人員不足で時間が取れないという理由で、セルフメディケーション実習が行えなかった。来年度は再度依頼予定。
  - ✓ 来年度の実習生の割り振りについては周知済。
  - ✓ 指導薬剤師取得のためのWS参加希望者を来年度に向けて再確認中。
- スタンプラリー経過と今後の予定(資料参照)
- 南部保険医療圏地域災害保険医療対策会議・訓練参加報告
- 健康福祉まつりについて(資料参照)
- 薬剤師資格証(HPKI)甲府関連業務について(資料参照)

### 2. 議題

- 三師会開催について(資料参照)
- 済生会川口 FAX 分業について(継続審議中)

いままで済生会川口病院は基本院内で希望者のみ院外であったのが、基本院外処方となり発行される処方箋枚数に応じてFAX処方箋も増加するのではないかとみられています。かみとだ薬局ではFAXが来ないことにより、1件在宅がなくなりもう一軒も門前で一包化されているものをばらして他院の薬を加えて再び一包化というような実害がでている。早急に対応してほしいとの訴えあり。川口薬剤師会に確認したところ、来年4/1に全面院外になるという打診が来ている状態で、まだ理事会でもアナウンスしていない事項である。今後の展開は当然ながら未定。また、済生会川口病院としてもコロナ感染の観点から薬局で待ち時間がなく薬を受け取れるようFAX処方箋を利用するという考えをもっていることを確認。

県薬に確認するも担当者わからず、回答がもらえる雰囲気ではない。継続して確認していく。

### 3. 意見抽出・質問事項

- 三師会次第、役割について

### 4. その他

## 会議内容

### 1. 報告事項

- 薬学生実務実習委員会佐貫委員長欠席で、染川会長が代理で報告。
  - ✓ 今期はイオン薬局北戸田店様が人員不足で時間が取れないという理由で、セルフメディケーション実習が行えなかった。来年度は再度依頼予定。
  - ✓ 来年度の実習生の割り振りについては周知済。
  - ✓ 指導薬剤師取得のためのWS参加希望者を来年度に向けて再確認中。
- スタンプラリー経過と今後の予定について、野口副会長より報告あり。薬事日報の1面に掲載された。今後アンケートを取って、良かった点、悪かった点を洗い出し、次に繋げる予定とのこと。  
ちなみにチラシの配布に関して、公的な機関には社協の飯田様にお願ひし、それ以外を回って依頼したが、郵便局や巣鴨信金など軒並み断られたとのこと。
- 南部保険医療圏地域災害保険医療対策会議・訓練参加について、野口副会長より報告あり。主催は南部保健所で、薬剤師会のほか、医師会、歯科医師会、病院、警察、行政などから参加があった。地震で土地の液状化という想定で班に分かれて検討が行われた。医師会や戸田中央総合病院、行政などは災害発生から30分以内で防災本部の立ち上げができ、具体的な計画が策定されているとのこと。本会としても薬の確保、流通における他者からの期待度は大きく、医療センターとの連携も含めてシステムの構築という課題が浮かび上がった。
- 健康福祉まつりについて鯨井理事より報告あり。久しぶりの開催で市も混乱していたが、当日は大盛況。動線がよく午前の人数が一時的に足りないほどであった。今後地域連携委員会としても活動をまとめ、来年に活かしたいとのこと。
- H P K I 取り扱いについて市薬でも扱えるようになりますとの連絡きたが、断ったとのこと。

### 2. 議題

- 三師会開催について芹澤副会長より説明あり。懇親会については、野口副会長が司会、染川会長が挨拶、ゴルフの結果発表、締め挨拶を芹澤副会長が行うことになった。席は決めて、席札を作り受付でご案内する方法を取る。何時から会場入りできるか、何時で終了なのか、会場のレイアウトについて確認取ることになった。鎌田理事、伊藤先生に受付していただき、領収書はその場で受付が記入することになった。なお受付は状況にもよるが、2組(鎌田理事+伊藤先生)、(芹澤)作ることを想定。最終的な清算は芹澤が行う、領収書は染川会長が用意する、参加者6名×8000円は会から用意することを確認。

- 済生会川口 FAX 分業について芹澤副会長より再度検討の依頼あり。

「いままで済生会川口病院は基本院内で希望者のみ院外であったのが、基本院外処方となり発行される処方箋枚数に応じて FAX 処方箋も増加するのではないかとみられています。〇〇薬局では FAX が来ないことにより、1件在宅がなくなりもう一軒も門前で一包化されているものをばらして他院の薬を加えて再び一包化というような実害がでている。早急に対応してほしいとの訴えあり。川口薬剤師会に確認したところ、来年 4/1 に全面院外になるという打診が来ている状態で、まだ理事会でもアナウンスしていない事項である。今後の展開は当然ながら未定。また、済生会川口病院としてもコロナ感染の観点から薬局で待ち時間がなく薬を受け取れるよう FAX 処方箋を利用するという考えをもっていることを確認。」

県薬からは、h18年に日薬から通達が出ている、ということしか言えないとのこと。

本理事会での議論としては前回までの議論を踏襲し、フリーアクセスの原則、受益者負担の原則、日薬の通達等の理由により手数料を払うことはできない、との認識を示した。本会と川口市薬剤師会との話しあいに立ち会う、県薬として見解を示すよう、一度野口副会長が預かり県薬と話し合うとのこと、この場は納まった。

## 決定事項

- 三師会の役割分担

## 検討事項

- 注射針回収の広報
- 医薬品流通の改善
- 会員薬局の麻薬備蓄
- 学校薬剤師委員会の活性化
- ホームページの活用
- 地域連携委員会の運用と当会のサポート体制
- 戸田市の薬剤師の掘り起こし
- 新たな会員区分の創設
- 戸田中央 H P 以外の病院との薬々連携
- 地域における麻薬の在庫と処方側との情報共有のあり方
- 会営薬局の設立
- ウォークラリーの実施
- 本会情報管理及び情報発信の一元化
- 川口済生会 F A X コーナーの手数料